

学習プログラム 3年「国語」

5月21日(木)「きつつきの商売 ①」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふでばこ 下じき】

②教科書16～25ページを音読して、どのようなお話だったかを思い出しましょう。

「きつつきの商売」は「1」と「2」の二つの場面に分かれていますね。
「場面」とは、「物語の中の、ひとまとまり」のことです。
みなさんは、どちらの場面が好きですか。



③ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

📌 <めあて> 二つの場面の登場人物や、書かれているようすをせいりして、
好きな場面を決めよう。

④教科書の26ページ「せいりするときのれい」を読んで、どのようにせいりするのかをたしかめましょう。



表の形でまとめると、見くらべやすくなりそう！
「場所・天気」や「登場人物」、「登場人物がしたこと」などに分けてせいりしているね。

⑤教科書やノート見本を見ながら、場面ごとにせいりしましょう。

📌【まとめ方（取り組み方）のれい】

〔1〕表のわくをじゅんぴしよう

- ・めあてを書いたところから1列空けて、ページが3段に分かれるように横線を引く。
- ・表の1列目に、場面、「1」の場面、「2」の場面と書く。
- ・一番上の段に、せいりするこう目を書く。
(書くりょうによって、はばがかわるので、1つつまとめながら書いてもいいです。)

〔2〕場面のせいりをしよう

- ・「1」の場면을音読したり、線を引きながら読んだりして、内ようをたしかめる。
- ・せいりするこう目ごとに、表にまとめる。
- ・同じように、「2」の場面もまとめる。
※こまったらノート見本を見て、あなうめをしながら、まとめてみましょう。

〔3〕表のしあげ

- ・こう目ごとにたて線を引いて、表をかんせいさせる。

⑥自分が好きだと思う場面を考えて、理由といっしょにノートに書きましょう。

📌 <好きな場面>

「 」… _____ から。

⑦ノートにふりかえりを書きましょう。

📌 <ふりかえり>

- ・2つの場面についてせいりし、好きな場面を決めることはできましたか。
- ・まとめるときにくふうしたことや、むずかしかったことは何ですか。

五月二十一日（木）

きつきの商売

へめあて

をせいつの場面の登場人物や、書かれていようす

場	場	天	登	登	が	こ
面	所	気	場	場	し	と
	や		人	人	た	
			物	物		
「1」の場面	の	天	き	き	の	を
	中	気	つ	つ	音	聞
		の	つ	つ		か
		日	き	き		せ
			が	が		た
「2」の場面	の					の
	中					音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た
						の
						音
						を
						聞
						か
						せ
						た

5月22日（金）「きつつきの商売 ②」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふではこ 下じき】



「きつつきの商売」には、
音を表す言葉がたくさん出てきますね。

「きつつき」が聞かせた音は、
どのような音だったのでしょうか。

②ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、もんだいを書きましょう。

🔍 <もんだい> 「きつつき」が聞かせた音について、考えましょう。

①何の音か。

②どんな音か。

③5月21日にまとめたノートを見かえて、

「1」の場面では、「きつつき」がどのような音を聞かせていたのか、たしかめましょう。



「1」の場面では、ぶなの木をたたいた音を、「2」の場面では、雨の音を聞かせていたよね。
どんな音かっていうと…。 どうやって音読したら、それぞれの場面のようすがつたわるかな。

④もんだいのつづきに、めあてを書きましょう。

🔍 <めあて> 「きつつき」が聞かせた音についてそうそうし、
ようすがつたわるように音読しよう。

⑤教科書の26、27ページの②「音読のしかた」を読んで、音読で気をつけたいことをたしかめ、
ノートに、「音読するとき気をつけること」をまとめましょう。

🔍 <大切>

○音読するとき気をつけること

- ・登場人物のようすや、気持ちもそうそうする。
- ・声の強弱やはやさ、高さや、間のとり方を考える。

⑥どんな音なのかを考えながら、「1」の場面を音読しましょう。

⑦「きつつき」がお客さんに聞かせた音について、自分の考えをノートに書きましょう。

🔍 <自分の考え> (れい)

「1」の場面

① _____ をたたいた音。

② 「 _____ 」と書いてあるから、 _____ 音だと思いました。
だから、音読するときも、 _____ で読むといいと思いました。



教科書に書かれている言葉から、どんな音だったのかをそうそうしましょう。

そして、その場面のようすが、よりつたわるようにするには、
どのように音読したらよいかを考えましょう。音読のくふう

⑧考えたくふうを取り入れながら、「1」の場面（18ページ～19ページの3行目）を音読しましょう。

⑨ノートにふりかえりを書きましょう。

🔍 <ふりかえり>

- ・教科書の言葉を手がかりに、「きつつき」が聞かせた音について、
そうそうすることはできましたか。
- ・音読のしかたをくふうしてみて、気づいたことや考えたことは何ですか。

五月二十二日（金）

きつきの商売

へもんだい

「きつつき」が聞かせた音について

考えましよう。

①何の音か。

②どんな音か。

へめあて

「きつつき」が聞かせた音についてそうぞうし、

ようすがつたわるように音読しよう。

へ大切

○音読するときに気をつけること

・音読するときに気をつけること。もちをそうぞうする。

登場人物のようすや、気もちをそうぞうする。

・声の強弱やはやささ、高さや、
間のとおり方を考える。

へ自分の考え

①「自分の場面」をたいた音

②「」と書いてある

「音だと思いましたが、

「だから、音読するときは、

「読むといいい読みました。

へふりかえり

へ

5月25日(月)「きつつきの商売 ③」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふではこ 下じき】

②ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、もんだいを書きましょう。

📄 <もんだい> 「きつつき」が聞かせた音について、考えましょう。

- ①何の音か。
- ②どんな音か。



前は、ぶなの木をたたいた音についてそうそうを広げ、音読のしかたをくふうしたね。「2」の場面は、どのように音読したら、物語のようすがつたわるかな。

③5月21日にまとめたノートを見かえて、

「2」の場面では、「きつつき」がどのような音を聞かせていたのか、たしかめましょう。

④もんだいのつづきに、めあてを書きましょう。

📄 <めあて> 「きつつき」が聞かせた音についてそうそうし、ようすがつたわるように音読しよう。

⑤どんな音なのかを考えながら、「2」の場面を音読しましょう。

⑥「きつつき」がお客さんに聞かせた音について、自分の考えをノートに書きましょう。

📄 <自分の考え> (れい)

「2」の場面

①__の音。

②「_____」と書いてあるから、

_____音だと思いました。

だから、音読するときは、_____で読むといいと思いました。



教科書に書かれている言葉から、どんな音だったのかをそうそうしましょう。

そして、その場面のようすが、よりつたわるようにするには、どのように音読したらよいかを考えましょう。音読のくふう

⑦考えたくふうを取り入れながら、「2」の場面(23ページ~25ページ)を音読しましょう。

⑧ノートにふりかえりを書きましょう。

📄 <ふりかえり>

- 教科書の言葉を手がかりに、「きつつき」が聞かせた音について、そうそうすることはできましたか。
- 音読のしかたをくふうしてみて、気づいたことや考えたことは何ですか。

五月二十五日(月)

きつきの商売

へもんだい

「きつつき」が聞かせた音について

考えましよう。

①何の音か。

②どんな音か。

へめあて

「きつつき」が聞かせた音についてそうぞうし、

ようすがつたわるように音読しよう。

「自分の考え」

①自分の場面

②の音

②

「

と書いてあるから、

音だと思いまし

た。

だから、音読するときは、

で読

むといいと思います。

へふりかえり

5月26日(火)「きつつきの商売 ④」

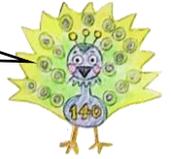
①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふでばこ 下じき】



前は、物語に出てくる音について、そうそうを広げたね。
音を聞いた動物たちは、**どんな気持ち**だったのだろう。

登場人物の気持ちは、登場人物が**したことや言ったこと**、**ようすに**
ちゅう目して考えることがポイントです。



②ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

✎〈めあて〉 **したことや言ったこと、ようすに気をつけて、
音を聞いた後の動物たちの気持ちを考えよう。**

③「1」の場面を音読しましょう。

④次の文を読んで、教科書の文とのちがいを見つけましょう。

- 【第一問】 きつつきは、ぶなの木のみきを、くちばしでたたきました。
【第二問】 ぶなの木の音が、ぶなの森にひびきました。
【第三問】 野うさぎは、きつつきを見上げたまま、聞いていました。
【第四問】 四分音符分よりも、長い時間がすぎてゆきました。



ぬけている言葉や教科書とちがう言葉がありますね。
教科書の文とくらべて、どのようなかんじがしますか。

⑤「1」の場面での、野うさぎときつつきの気持ちを考えて、ノートに書きましょう。
登場人物がしたことや言ったこと、ようすを手がかりに、なぜ、そのように考えたのか、理由も書くようにしましょう。

✎〈自分の考え〉 (れい)

1野うさぎ

ぶなの木の音を聞いて、_____と思います。

なぜなら、「_____」とあるので、
_____と思うからです。

2きつつき

_____とかんじていると思います。

なぜなら、「_____」とあるので、
_____と思ったからです。

⑥ノートにふりかえりを書きましょう。

✎〈ふりかえり〉

- ・したことや言ったこと、ようすを手がかりに、音を聞いた野うさぎやきつつきの気持ちを考えることはできましたか。
- ・学習を通して、気づいたことや考えたことを書きましょう。

五月二十六日（火）
きつつきの商売

へめあて

音を聞いたこととや言ったこと、
ようすに気をつけて、
音を聞いた後の動物たちの気もちを考えよう。

1 へ自分の考え

野うさぎ

す。ぶなの木の音を聞いて、

と思いま

なぜなら、「

「とあるので、

うからです。

と思

2 きつつき

とかんじていると思ひます。

なぜなら、「

「とあるので、

と思つたからです。

へふりかえり

5月28日(木)「きつつきの商売 ⑤」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふでばこ 下じき】



前は「1」の場面の、音を聞いた後の登場人物の気持ちを考えてね。
今日は「2」の場面を考えていこう！

ポイントは、登場人物がしたことや言ったこと、ようすに
ちゅう目して考えることでしたね。



②ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

🔍 <めあて> したことや言ったこと、ようすに気をつけて、
音を聞いた後の動物たちの気持ちを考えよう。

③「2」の場面を音読しましょう。

④次の文を読んで、教科書の文とのちがいをを見つけましょう。

- 【第一問】 葉っぱのかさをさした十ぴきの子ねずみたちは、
きれいな目を、そろってきつつきにむけました。
- 【第二問】 野ねずみたちは、みんな、うなずいて、
- 【第三問】 それから、目を開けたりとじたりしながら、ずうっと、
- 【第四問】 とくべつメニューの雨の音を聞いていたのです。

ぬけている言葉や教科書とち
がう言葉がありますね。

教科書の言葉だと、どんなか
んじがたわってきますか。



⑤「2」の場面での、野うさぎときつつきの気持ちを考えて、ノートに書きましょう。
登場人物がしたことや言ったこと、ようすを手がかりに、なぜ、そのように考えたのか、
理由も書くようにしましょう。

🔍 <自分の考え> (れい)

1 野ねずみの家族

雨の音を聞いて、_____と思います。

なぜなら、音を聞いた後には、「_____」や

「_____」

と書いてあるので、_____と思うからです。

2 きつつき

_____と思います。

なぜなら、新しく思いついたメニューを、野ねずみの家族が「_____」

_____いるのを見て、_____と思ったからです。

⑥ノートにふりかえりを書きましょう。

🔍 <ふりかえり>

- ・したことや言ったこと、ようすを手がかりに、
音を聞いた野うさぎやきつつきの気持ちを考えることはできましたか。
- ・学習を通して、気づいたことや考えたことを書きましょう。

五月二十八日（木）
きつつきの商売

へめあて〜
音を聞いたこととや言ったこと、ようすに気をつけて、

1 へ 野 自 分 の 考 え
雨 の 音 を 聞 い て、

思 ない ます。 音 を 聞 い て、
「 や 」 音 を 聞 い た 後 に は、 「
と 思 う か ら で す。 思 っ て あ る の で、

2 き つ つ き

な ぜ な ら、 新 し く 思 い つ い た メ ニ ュー ー 思 い ます。
ず み の 家 族 が 「 新 し く 思 い つ い た メ ニ ュー ー 思 い ます。
の を 見 て、 新 し く 思 い つ い た メ ニ ュー ー 思 い ます。
で す。 音 を 聞 い た 後 に は、 「

へ ぶ り か え り

5月29日（金）「きつつきの商売 ⑥」

①学しゅうのじゅんぴをしましょう。

【教科書 ノート ふではこ 下じき】



前の時間までは、「1」と「2」の場面のようにすについて考えましたね。
今日は、自分だけの「3」の場面を考えていきましょう。

②ノートの新しいページを開いて下じきをしき、日づけやたんげん名、めあてを書きましょう。

📌〈めあて〉 「3」の場面を作るなら、どのような物語にするかを考えよう。

③教科書の27ページの「まとめよう」や③「ノートのれい」を読んで、書き方をたしかめましょう。



「1」と「2」の場面のようにすを表にまとめたときのように、
内ようごとにせりりして書いていますね。



教科書のれいでは、おもしろい場面が考えられているね。
「1」と「2」の場面では、両方とも屋間のかんじがしたけど、
「明るい月夜」というのが、くふうしていいね。



「楽しくなっておどりだす」というところも、
ためきたちのようすがそうぞうできて、ゆかいな気もちになるね。

④どのような物語にしたいかを考えて、ノートにまとめましょう。

📌〈自分の考え〉

教科書やノート見本をさんこうにしながら、

「登場人物」「場所や天気など」「音」「出来事など」といった内ようごとに書きましょう。

★どんな動物を登場させるか考えましょう。



シカ



アライグマ



リス



クマ



サル



フクロウ

⑤チャレンジかだい：まとめた表をもとに、物語を書いてみましょう。

📌〈チャレンジかだい〉

ぶなの森に、しずかな夜がやってきました。

きつつきは、新しいメニューを思いつきました。

⑥ノートにふりかえりを書きましょう。

📌〈ふりかえり〉

・考えた3の場面を、ノートにまとめることはできましたか。

・物語を考えるときに、くふうしたことや大へんだったことは何ですか。

五月二十九日（金）	きつきの商店	へめあての	「3」の場面を作るなら、どのような物語にするかを考えよう。	へ自分の考え	登場人物	場所や天気など	音
					・店の人：きつつき ・おきやく：たぬき（ニひき）	・森のおく ・明るい月夜	・音を聞かなくていたたぬきたちが、楽しくなっていたおどりだす。
							・木をたたたく、元気な、「コツコツ」という音。

出来事など	・音を聞かなくていたたぬきたちが、楽しくなっていたおどりだす。	へチャレンジかだい	へふりかえり
		きぶなの森に、新しいかな夜がやってきました。きつつきは、新しいメニユーを思いました。	

教科書の文しうや
言葉の使い方をまねしながら、
自分だけの「3」の場面の
物語を書いてみましょう。